

「大きいのはカッコいい！」を 日本へ世界中に広める 女性社員たち

(株)ミッド・インターナショナル
通販事業部

(株)ミッド・インターナショナルは、身体のサイズが大きくてファッションに困っている人たちに「おしゃれ」を思いっきり楽しんでもらいたいという思いから、親会社である昭和23年創業の紳士服卸売業(株)マンチエスから約20年前に独立した通販専門会社です。

「超ビッグサイズ専門」の通販を、大手の市場に先駆けて取り入れたこの会社には、「大きいのはカッコいい！」を、日本中・世界中に広めたいと、日々新商品開発・広報に取り組む、女性社員を中心としたプロフェッショナルチームがあります。

率いるのは、通販事業部部长 伊澤由季子さん。

「ネット？その前にカタログだろ」

今から約10年前、伊澤さんが入社した当時の社内はまだ「通販といえばカタログ」との考えが主流でした。

入社早々、多くの社員から

「カタログが出れば売れる、カタログを出す場所を作ることが何より先決だ」

と言われた伊澤さんは、その体質や考えに大きな疑問を持ち、焦りました。

「ネットの時代はもう来ている。カタログだけに頼っている場合ではないのに…」

実際、創業当時から外注にて立ち上げられていたインターネット販売のサイトでの売れ行きは確実に上がっていました。しかし、外注であるがゆえにコストはかかり、サイトに自社の想いがリアルに伝わらないのが現状でした。「このままでいいわけがない…」

そんな姿を、社長の上田さんはじめ周囲も徐々に認めだし、平成25年1月、念願の新チーム「通販事業部」が発足しました。

会社を変えた2人を中心に、 ほぼ女性のチーム誕生。

伊澤さんを部長とした新体制は女性16名。男性2名。わざわざ女性を集めたわけではありませんでしたが、圧倒的に女性中心となりました。

社長の上田さんは、元々「男性だから」「女性だから」という理由で、職種や社内役割を限定するべきではないと考えを持っていました。

「もちろん、彼女らを抜擢した際に『女性だから』という感覚は全くありませんでした。ただ彼女らに仕事を任せていたら、どんな成果をあげてくれました」

今では逆に「女性だから社内重要な役割をお願いしたいと思うほど」と話します。

「ものを売る」から、「楽しさを届ける」へ

新体制のいちばんの目標は「お客様からの声」を最大限に活かした「ミッド・インターナショナルのファンづくり」。

ただものを売るためではなく、顔が見えない通販だからこそお客様に楽しい『安心』をお届けしたいと、ブログや企画などにも力を入れました。

また従来からのカタログにも、WEBと同じく「いつ見ても楽しい」と思わせる工夫もこらしました。するとサイトに加えてカタログの評判も上々、アクセス数や問い合わせ数と比例して、売上も格段に上がっていききました。しかし、よいことばかりではありませんでした。

それは、「レディース」からの撤退。

社長の上田さんは、伊澤さんに「レディースは商品の

そんな想いが高まるばかりでした。

「会社を大きく変化させたい」

当時、伊澤さんは商品撮影を任されていました。そこではほぼ同時期に入社した神野友香さん(現…通販事業部事業責任者)と意気投合、会社の未来を語り合ううちに、「会社を大きく変化させたい」と同じ想いを描くようになりました。

そのために2人は徹底的に勉強しはじめました。

神野さんにはWEBの知識があり、WEBでの集客や販促などを、伊澤さんは自社商品についての知識をつけられました。

しかし、全く違うことに向かい出した2人は「完全社内アウェイ」の状態でした。

その中で2人は当時、社内のネット通販を行う部署が「集客・販促・ページ制作」と、「顧客対応・出荷対応」の部署に分かれていることは、お客様にとって大きなマイナスなのではないかと感じていました。

「お互いお客様のことを思い工夫をしてもそこに温度差が生じてしまう。ひとつにすることはできないのか…」

しかし社内の組織を簡単に変えることはできず、伊澤さんたちは、こつこつと自分たちの考えや想いを形にし、積み重ねていきました。

息が短く、回転が早い。在庫のことを考えると、競合他社には追いつけない」と、苦渋の決断をしたことを告げました。

伊澤さんは悔やみましたが、新たなチャレンジへの通過点だと受け入れました。

「私たちの仕事はお客様にワクワク感と 安心・信頼をお届けすること」

そう語る伊澤さんの、新たなチャレンジは「海外」です。更なる目標に「大きいサイズで世界No.1」を掲げ、まずは購買力が高くなっている中国をターゲットに発信しはじめました。

「おしゃれな服だねと言われた！」

「WEBやカタログを見るのが楽しい」

とどまることなく日々邁進する彼女らに、世界中の大きいサイズの人たちから、そんな喜びの声や笑顔が届くのも、それほど遠くはないに違いありません。



当所主催 合同記者発表会(9/24)にてメディアに向けて自社商品をアピールする伊澤さん(右)神野さん(中央)ら。



部長 伊澤由季子さん(中央) 事業責任者 神野友香さん(左)

社長からのエール

(株)ミッド・インターナショナル 社長 上田佳宏氏
これからもやりがいを持ち、女性ならではの細かな気遣いや、あたかさを仕事に活かしてくれよう期待しています。お客様やスタッフ同士とのコミュニケーションが深まれば、一層活躍の場が広がると思っています。長く第一線で活躍できるよう私もサポートしていきます。